

	<p>てるひめ</p> <h2>豪華絢爛な時代絵巻「第32回照姫まつり」 の主演三役が決定！</h2>
と き	2月4日発表
と ころ	練馬区立生涯学習センター（豊玉北6丁目）
<p>第32回「照姫まつり」(5月19日開催)の主演三役が決定した。</p> <p>区立生涯学習センター(豊玉北6丁目)でオーディションが行われ、32代目となる照姫の座には、区内在住の高校生、秋元美穂(あきもとみほ)さんが、多数の応募者の中から選ばれた。</p> <p>秋元さんは「来場者の方々が笑顔になれるようなまつりにしたい」と、照姫を演じる意気込みを語ってくれた。</p> <p>豊島泰経役には、高嶋聡(たかしまさとし)さん、奥方役には、河上知子(かわかみともこ)さんが選ばれた(共に区内在住)。</p> <p>照姫まつりは、5月19日(日)に、都立石神井公園とその周辺で開催する。</p>	



左から河上さん、秋元さん、高嶋さん



▲昨年の照姫まつりの様子①



▲昨年の照姫まつりの様子②

【照姫まつりとは】

照姫まつりは、室町時代の石神井城主豊島泰経とその娘「照姫」にまつわるまつり。照姫は、室町時代中期に石神井城を本拠地とし、栄華を極めていた豊島泰経(としま やすつね)公の娘として語り継がれている。戦乱の中、泰経公は宿敵太田道灌(おおた どうかん)に攻め滅ぼされ、現在の石神井公園にある三宝寺池に飛び込んだ。愛娘の照姫は、泰経公の最期をみると、悲しみのあまり自らも池に身を投げ、命を絶ったと言われている。

【最大の見どころは「照姫行列」】

照姫まつり最大の見どころは、照姫、泰経公、奥方を中心に、華やかな衣装の照姫や勇ましい武者にふんした約100人が石神井公園周辺を練り歩く照姫行列。石神井公園内の野外ステージで行われる出陣式は、泰経公の掛け声で家臣たちが「エイエイオー！」という勇ましい鬨(とき)の声をあげる様子や、照姫や奥方等の美しい舞に会場は大いに盛り上がる。

【問い合わせ】練馬区 商工観光課 まつり係 電話 03-5984-2389